

カミガモシダ

Asplenium oligophlebium Baker
チャセンシダ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が嶺北地方に1箇所、嶺南地方に3箇所。岩上に群生するところから採取圧を受けている。産地局限と日本固有種であることから、要注目種にする。

分 布

全国分布は本州（新潟県、岐阜県以西）～九州。県内分布は4箇所に生育している。

種の特徴

常緑性の小型シダ類。ヌリトラノオに似て葉はやや小さい。高さ20cm前後、葉軸の先端に不定芽を持つ、葉柄、葉軸が褐色、葉身は単羽状である。本県、京都府を中心に岩場に群生する。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路改修、開発、採取圧、堰堤工事。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○			○									

イヌチャセンシダ

Asplenium tripteropus Nakai
チャセンシダ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育環境のよい湿潤な森林が道路改修等によって森林の減少がすすみ、環境の変化がみられるものの生育力が強く、県域絶滅危惧Ⅱ類から要注目とする。

分 布

全国分布は本州（秋田県、神奈川県以西）～九州。県内分布は嶺北地方で2箇所、嶺南地方で4箇所で生育。

種の特徴

常緑性のシダ類。林床のやや湿った岩場に着生。チャセンシダに似るが、葉柄、葉軸の裏側に狭い翼をもち、チャセンシダと同様に側面に2個の翼をもつので計3個の翼をもつ。葉軸の上部には無性芽をつける。高さ20cm前後、葉柄葉軸とも茶褐色で単羽状。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路改修。

参考文献 岩槻邦男編（1992）、中池敏之（1992）、渡辺定路（2003）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○		○	○				○							○	

テバコワラビ

Athyrium atkinsonii Bedd.
イワデンダ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

山地のやや日当たりのよい林縁に群生している。草質で弱々しい。伐採等で減少すると思われる。他県ではシカの食害で絶滅したところもある。

分 布

全国分布は本州、四国、九州。県内分布は、大野市、池田町。

種の特徴

山地の林床に生える夏緑性草本。葉柄と葉身はほぼ等長。葉身は広卵形で3回羽状複生し小羽片は有柄。円頭、葉はやわらかで、孢子嚢群は小さく、円形で中肋近くにつく。

生育を脅かす要因

森林伐採、シカ食害。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会監修（1999）
福井県植物研究会（2000）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
									○							○	